

新規・継続等	新規	分野	主要な道路の整備			事業番号	38	事業名	道路改築 ( 国道・小規模改築 )				
市町村名	栄村		ふりがな 箇所名	(国)405号 和山 <small>わやま</small> - 小赤沢 <small>こあかさわ</small>			事業年度 (完了年度は見込み)	H23年度～		H26年度			
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=1,278m W=4.0(6.0)～5.5(7.0)m						H22年度末事業進捗率	0%				
	H23年度以降実施内容	同上						本工事費等ベース	0%				
	H23年度実施内容	地形調査 1式、地質調査 1式、詳細設計 1式、用地測量 1式、用地補償 1式						用地補償費ベース	0%				
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降残			
	事業費計(千円)	400,000		0		0		50,000		400,000			
財源内訳	国庫支出金	220,000		0		0		27,500		220,000			
	その他												
	県債	126,000		0		0		15,750		126,000			
	一般財源	54,000		0		0		6,750		54,000			
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部		政策評価課		
									ランク	評点	ランク	評点	
	必要性 (25)	計画交通量	10,000台/日以上			1,500台以上～10,000台/日未満		1,500台未満		B	0	B	0
		代替道路	唯一の道路である			代替となる道路がある					2		2
		ネットワーク (道路網)	駅やインターチェンジが20km以内にある			駅やインターチェンジが20km以上にある		駅やインターチェンジに通じる路線でない			5		5
			山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する			山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する		山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない			2		2
		観光地に通じる道路	観光地に通じる道路ではない			観光地に通じる道路ではない					2		2
		各事業特有の必要性(安全の確保)	5.5m未満又は6.0m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)			5.5m以上6.5m未満(幅員)		6.5m以上(幅員)			4		4
			歩道未整備区間に歩道を設置			歩道はあるが不十分であるものを再整備		歩道整備無し			0		0
	小計									15		15	
	重要性 (15)	関連計画との整合	県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)			県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)		該当なし		A	6	A	6
		設計上の環境配慮	環境配慮がされ現実性が高い			環境配慮がされているが現実性が低い		環境配慮をしていない		4	4		
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている			緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域に位置付けられている		特別な位置づけはない		3	3		
		小計									13		13
	効率性 (15)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上			B/C 1.0～1.5未満		B/C 1.0未満		B	0	B	0
		事業効果の早期発現 (H22以降残事業年数)	事業年数 5年未満			事業年数 5年～10年未満		事業年数 10年以上			5		5
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。			部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		コスト縮減はしていない			4		4
	小計									9		9	
	緊急性 (25)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる			交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない		A	9	A	9
		各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)	渋滞箇所が緩和する			渋滞箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する		渋滞対策ではない		4	4		
			医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)			医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に関係ない道路		9	9		
	小計									22		22	
	計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い			市町村からの要望		特に要望がない		B	6	B	6
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知			関係者中心に周知		特に周知していない			3		3
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加			住民や市町村の意見を計画策定に反映		特に住民意見は反映していない			4		4
小計											13		
費用対効果(B/C)		0.1			評価の合計				B	72	B	72	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	国道405号は栄村秋山郷の集落と市街地を結ぶ通年交通が可能な唯一の路線であるが、現道は線形が悪く幅員が狭小である上、雪特地域であることも重なり交通の安全に支障をきたしている状況である。地域住民からの要望も強いため、生活道路としての安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能向上による地域産業の活性化に寄与する必要がある。											
	地域からの要望経緯	毎年栄村及び期成同盟会より当該箇所の改良について要望があるとともに、秋山郷地区住民からも強い要望がある。											
	事業説明等の経緯	H20までに国道405号を含む秋山郷の道路整備網について役場と協議を重ね、H21には概略設計を実施したところであり、H22は事業説明を役場へ実施済み。											
	環境・景観への配慮項目	極力現道を利用するルート及び縦断計画とし、廃材等の削減をはかることで環境への負荷に配慮したい。											
	他事業・プロジェクトとの関連	国道405号の新潟県管理区間においては、道路改築及び改良並びに防雪等の事業が順次計画的に実施され、H21までに約20億円を投資して整備目標に対し約50%の進捗となっており、H26までに完了させる予定である。											
特記事項	新潟県における国道405号の整備状況も考慮し、役場等関係機関及び関係者と連携し、意見を聞きながら秋山郷地域の道路整備網について事業の進捗を図る必要がある。												
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他				
部意見	事業の重要性及び緊急性が高いため、平成23年度から新規事業化したい。					政策評価課意見	重要性、緊急性が認められる。						